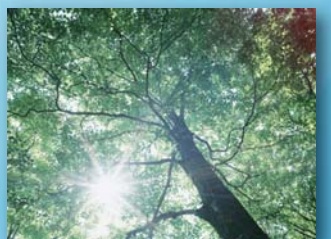
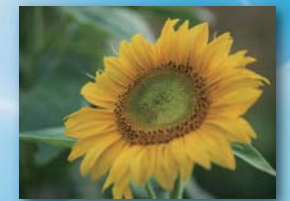


次世代安心・安全ICTフォーラム



【フォーラム参加に関する問い合わせ先】
次世代安心・安全ICTフォーラム事務局
〈国立研究開発法人 情報通信研究機構内〉
Tel: 042-327-6696 Fax: 042-327-7597
E-mail: ictfss@ml.nict.go.jp
URL <http://ictfss.nict.go.jp/>



会長挨拶



次世代安心・安全ICTフォーラム会長 松島 裕一
(早稲田大学教授)

近年わが国では、社会の高度化、利便性の向上が進展する一方、それらに伴う社会の脆弱性が指摘されています。さらに、少子高齢化社会が進みつつある中、災害等の脅威の中でも国民一人一人が安心・安全に暮らすことのできる社会の構築が求められています。

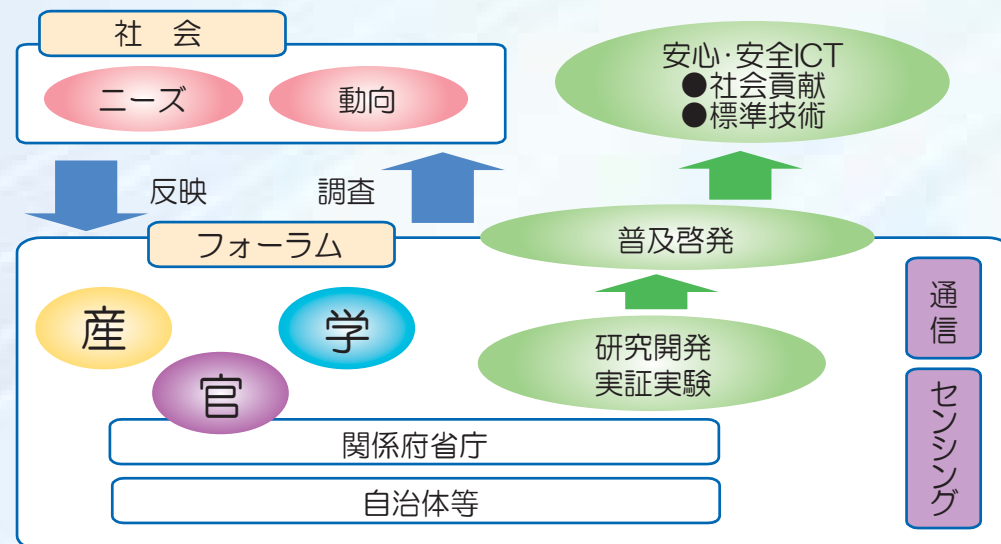
情報通信技術（ICT）は災害・危機管理のための基盤構築に不可欠な技術であり、とりわけ災害時にも安心して利用できる情報伝達手段の確保、また、災害関連情報を確実に収集して個人個人に確実・迅速に伝達するシステムの構築は、わが国の防災・減災分野における喫緊の課題となっています。

2007年6月に設立されました「次世代安心・安全ICTフォーラム」は、センシング技術から情報処理・通信技術にわたる広範囲のICTを駆使した先進的な安心・安全ICT技術の発展・普及を産学官連携の下で加速推進するための組織として、設立以来、多くの有識者、産業界あるいは行政、公的機関等の皆様のご賛同を得つつ活動しています。

今後とも、各方面との交流を深めつつ、本フォーラムを発展させて参りたいと存じますので、一層のご理解とご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

設立の趣旨

地震、竜巻、津波などの甚大な被害をもたらす自然災害が頻発し、これらによる被害を予測・軽減するための通信技術分野やセンシング技術分野における新しいテクノロジーへの要求と、それらを効果的に活用することにより安心・安全な社会を実現していくことが強く求められている中、産学官の幅広い関係者を結集し、災害情報通信システムの研究開発・実証実験・標準化等を戦略的に推進し、安心・安全なコネクティッド社会を実現するための研究開発推進母体として、平成19年6月26日に設立いたしました。



主な活動内容

- ワークショップ、シンポジウム等の開催
- 標準化を狙った戦略的研究開発推進
- 各種研究プロジェクトの支援、指導
- 関連府省、研究機関等との連携促進
- 実証実験
- 各種技術展示会への出展
- 外部の関連コンソーシアム、学会等との連携
- 技術の普及啓発

センシング技術部会

■先端センシングWG

技術的に最先端・先駆的なセンサーについて、その利用や今後の技術開発などについて検討・調査などを行う。

■センサー利用WG

センサー技術の利活用、普及、産業化フェーズを検討するとともに、利用・普及の阻害要因などを調査検討し、今後の利活用の方策を検討する。

■海上パイWG

沖合100 km超の海上パイに設置したセンサーを用いた、測位や応用技術の開発と、パイからのデータのリアルタイム通信の可能性を検討する。

通信技術部会

■防災・減災通信技術WG

ユーザーとICT開発者のコラボレーションのもと、ICTの研究開発の最先端と災害現場の最先端をつなぎ、真に実用的な防災・減災ICTの技術検討、社会還元を促進するための調査、検討を行う。

■衛星通信技術WG

災害時における災害対策機関通信や、住民との間の情報伝達において、広域性、同報性、耐災害性などの特徴を持つ衛星通信をどのように活用すべきか、またそのための研究開発をどのように進めてゆくかの調査、検討を行う。

企画部会

■災害・環境監視技術検討会

火山防災におけるセンサー技術の活用に関する研究者を結集し、火山礫・火山灰・噴煙の監視・予測法を検討と、PM2.5 や花粉等の監視・予測法の検討を行う。

技術検討会・ワーキンググループの活動

